

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	国語		科目名	論理国語																		
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●										
教科書・副教材・(発行所)																						
① 新論理国語 (三省堂) ② 新論理国語 学習課題ノート (三省堂) ③ 常用漢字ダブルクリア (尚文出版) ④ リテラス論理言語力検定ワークブック3級 (ベネッセ)																						
学 習 の 重 点 目 標																						
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																						
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度															
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字・リテラス検定について的小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施															
	評 価 の 基 準																					
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)															
				B+			B-															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。															
主体性・態度	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。															
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。															
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。															
																		★期末考査				
																		総 時 間 数		87		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	国語		科目名	論理国語														
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●	●						
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：精選 論理国語 (三省堂) ② 問題集：精選 論理国語 学習課題ノート (三省堂) ③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版 (尚文出版) ④ 参考書：新訂版常用国語便覧 (浜島書店)																		
学 習 の 重 点 目 標																		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材			第1学期 4月～5月 第一部 一. 論理国語へのいざない 『論理力と思考力』 二. 「情報社会」を生きるⅠ 『ぬくみ』 【中間考査】 三. 環境問題を考える 『世代間倫理としての環境倫理学』 五. 生命について考える 『病と科学』 【期末考査】								
	②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施			②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施			③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施											
評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)											
				B+			B-											
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			第2学期 8月～9月 第一部 四. 言葉を見つめるⅠ 『言葉がつくる女と男』 五. 生命について考える 『動的平衡』 【中間考査】 五. 生命について考える 『ゲノム編集とiPS細胞』 六. 芸術について考える 『ミロのヴィーナス』 【期末考査】								
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。			表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。			自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。			12月～1月 七. 科学技術と人間 『AI時代の「人間」』 八. 「市民社会」について考える 「市民」のイメージ								
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけている。			応用的な文章の読み取りにあまり取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。			第3学期 2月～3月 第一部 七. 科学技術と人間 『「なぜ」に答えられない科学』 八. 「市民社会」について考える 『「市民」のイメージ』 【期末考査】								
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
総 時 間 数																	98	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	国語		科目名	論理国語													
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●		第1学期	4月 ～ 5月	弱いつながり	5
教科書・副教材・(発行所)																	
① 教科書：論理国語（数研出版） ② 問題集：論理国語 学習課題ノート（数研出版） ③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④																	
学 習 の 重 点 目 標																	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																	
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				第2学期	6月 ～ 7月	【中間考査】 〔逆説〕 胆力について	11			
評 価 の 趣 旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施					8月 ～ 9月	【期末考査】 〔具体と抽象〕 「内的成長」社会へ 〔言葉と創造〕 国境を越える言葉 【中間考査】	1			
	評 価 の 基 準			A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)				10月 ～ 11月	〔近代と現代の視点〕 〈近代〉の入口と出口の間 〔情報と社会〕 疑似群衆の時代 【期末考査】	6		
	知・技			B+			B-		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				12月 ～ 1月	【中間考査】 〔言葉と思考〕 日本語は非論理的か	7		
定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。							定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。						定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				2月 ～ 3月
思・判・表	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができる。			自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができる。			自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。				第3学期						
	文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができる。			文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通してある程度批評や討論、論述、発表することができる。			文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえての読み比べや調べ学習、外国語に訳す活動を通して、批評や討論、論述、発表することがあまりできていない。										
主 体 性 ・ 態 度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。										
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。										
総 時 間 数																62	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	国語		科目名	文学国語														
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →	●											
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：文学国語（大修館：文国704）																		
② 問題集：文学国語 学習ノート（文国 704準拠）																		
③																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
①文章の内容、構成、展開。描写などをとらえ、解釈できる読解力をつける。																		
②他作品などと比較して読解し、文体の特徴や効果を考えたり、解釈を深めたりできるようにする。																		
③解釈を他者と共有し、解釈の多様性について考える力をつけ、ものの見方、考え方、感じ方を深める。																		
④体験に基づき、構成、表現などを工夫して、文学的文章を書く力を養う。																		
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						
評価の趣旨	国語一般常識や文章の読解力を、小テストと定期考査で評価する。						考えたことを的確に表現できる力を、授業中の問いに対する解答やレポート・感想文作成、話し合いの様子等で評価する。						自ら進んで学習に取り組み、向上し続けようとする意欲を、授業中の態度や提出物、学期ごとの振り返りで評価する。					
	評 価 の 基 準						評 価 の 基 準						評 価 の 基 準					
A（十分満足できる状況）						B（概ね満足できる状況）						C（努力を要する状況）						
						B+			B-									
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動で、自分の考えを他者に伝える適切な表現で述べたり、表現することができている。						探究的な課題やグループ活動で、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。						探究的な課題やグループ活動で、あまり自分の考えを表現することができていない。				
文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等で他者によく伝えるように的確に表現することができている。						文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等である程度伝えるように表現することができている。						文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等で表現することがあまりできていない。						
主体性・態度	学習に主体的に取り組み、積極的に発言したり、提出物を期限内に出したりすることができている。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。					
総 時 間 数																	67	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	国語		科目名	文学国語																		
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →									●							
教科書・副教材・(発行所)																						
① 文学国語 (数研出版) ② 文学国語 準拠ワーク (数研出版) ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施													
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)													
					B+		B-															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
										総 時 間 数												
										65												

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数										
教科名	国語		科目名	古典探究																										
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●																		
教科書・副教材・(発行所)																														
① 教科書：新編古典探究 (東京書籍) ② 問題集：新編古典探究 学習課題ノート (東京書籍) ③ ④																														
学 習 の 重 点 目 標																														
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																														
知識・技能										思考・判断・表現										主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・古典常識についての小テストを実施					①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施					①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施					第1学期 4月～5月 9 【中間考査】 1 6月～7月 6 3 1 8月～9月 6 6 1 10月～11月 7 1 12月～1月 7 2月～3月 6 1														
	評 価 の 基 準																													
A (十分満足できる状況)										B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)															
										B+					B-															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。					定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。					定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。					定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。														
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、自分の言葉で表現することができる。					探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現したりすることができる。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができず、自分の考えを持ったり自分の言葉で表現したりする様子がほとんど感じられない。					文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。					文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。					文章の読み取りほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。			
主体性・態度		予習・復習するなど、粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。					真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。					振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。					振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。					振り返るべき内容を考えることができていない。			
	総 時 間 数										61																			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	国語		科目名	古典探究																	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →															
教科書・副教材・(発行所)																					
① 教科書：精選古典探究（大修館書店） ②問題集：精選古典探究 学習ノート（大修館書店） ③ 参考書：大学入試新古文単語336（文英堂） ④参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版） ⑤ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版） ⑥新訂版常用国語便覧（浜島書店）																					
学 習 の 重 点 目 標																					
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																					
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度									
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問						①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施						①授業中の態度や意欲								
	②小テストの出来具合 教科書で学習した内容・古文単語について小テストを実施						②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についてのグループ活動を実施						②提出物の内容 プリント・副教材								
												③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施									
評 価 の 基 準																					
A（十分満足できる状況）						B（概ね満足できる状況）						C（努力を要する状況）									
						B+			B-												
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								
													【期末考査】								
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。						探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。						探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。								
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。						応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。						応用的な問題にあまり取り組むことができていない。								
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。								
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。								
総 時 間 数																					
87																					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	国語		科目名	古典探究																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →															
教科書・副教材・(発行所)																					
①教科書：精選古典探究(大修館書店) ②問題集：精選古典探究 学習ノート(大修館書店)																					
③参考書：大学入試新古文単語336(文英堂) ④参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕(尚文出版)																					
⑤参考書：必携新明説漢文(尚文出版) ⑥新訂版常用国語便覧(浜島書店)																					
学 習 の 重 点 目 標																					
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																					
知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問					①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施					①授業中の態度や意欲										
	②小テストの出来具合 授業で学習した内容・古典常識についての小テストを実施					②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施					②提出物の内容 プリント・副教材										
										③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施											
評 価 の 基 準																					
A (十分満足できる状況)					B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)											
					B+		B-														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。					定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。					表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。					自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。										
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。					応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。					応用的な文章の読み取りにほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。										
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。					真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。										
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。					振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。					振り返るべき内容を考えることができていない。										
総 時 間 数																					
																			62		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数							
教科名	国語		科目名	古典探究																					
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●	●		第1学期	4月	随筆二 花は盛りに（徒然草） 故事 買履忘度（韓非子） 画竜点睛（歴代名画記）	4 4 1						
教科書・副教材・（発行所）																									
① 教科書：高等学校 古典探究（数研出版：古探/711）																									
② 問題集：高等学校 古典探究 準拠ワーク（数研出版）																									
③																									
④																									
学 習 の 重 点 目 標																									
①古文・漢文の読解を通して、文章の内容をとらえたり、文章を評価したり、自分の考えを深めたりできるようにする。																									
②重要単語や句形、文法等の古典一般常識を身に着け、日本の伝統文化である古典作品を自分で読解できるようにする。																									
③古典を鑑賞することによって、伝統的なものの見方・考え方に触れ、日本文化についての素養を身に																									
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						第2学期	8月	史伝 鴻門之会（史記） 頭髪上指す	9				
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問						①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価						①授業中の態度や意欲を評価						9月	9月	説話 大江山（十訓抄）	12			
	②小テストの出来具合 古文単語等についての10分間小テストを実施						②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価						②課題レポートや問題集の提出状況を評価							③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価					
評 価 の 基 準																									
A（十分満足できる状況）						B（概ね満足できる状況）						C（努力を要する状況）						第3学期	10月	思想 莊子	4				
						B+			B-										11月	物語 光源氏誕生（源氏物語）	11				
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						★期末考査	1					
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。						探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。						探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。						12月	12月	物語 小柴垣のもと（源氏物語）	8		
応用的な問題にも意欲的に取り組み、初見の古典を読解する能力を身に付けることができている。						応用的な問題に積極的に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけている。						応用的な問題にあまり取り組むことができていない。						1月							
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。						2月	2月	文章 売油翁（欧陽脩）	6			
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。							3月	★期末考査	1			
																	総 時 間 数		93						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	地理歴史		科目名	地理総合																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →															
教科書・副教材・(発行所)																					
① 教科書：地理総合(実教出版) ② 地図帳：新高等地図(東京書籍) ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
地理的事象に関して、世界の生活文化の多様性や、地域・地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。また、地理的事象の意味や意義、相互の関連を自然環境や地域に着目して、多面的・多角的に考察し、それらを基に議論したりする力を養う。																					
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業中に学習した内容について小テストを実施			①課題レポートの内容 定期的に探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ノート、授業プリントなど ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施														
	評 価 の 基 準																				
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)														
				B+		B-															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。														
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。														
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。			各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。														
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
総 時 間 数																					

第1学期
4月～5月
6月～7月
第2学期
8月～9月
10月～11月
第3学期
12月～1月
2月～3月

第2編 国際理解と国際協力
第1章 生活文化の多様性と国際理解
グループ1 自然環境と生活文化
テーマ①地形と生活文化
8
テーマ②気候と生活文化
★中間考査
1
テーマ②気候と生活文化
グループ2
テーマ①東アジア
10
★期末考査
1
テーマ①東アジア
グループ3
テーマ②西アジア・北アフリカ
13
★中間考査
1
グループ4
テーマ①ヨーロッパ
14
グループ5
テーマ①北アメリカ
★期末考査
1
グループ5
テーマ①北アメリカ
第2章 地球的課題と国際協力
16
第2章 地球的課題と国際協力
★期末考査
1

8
1
10
1
13
1
14
1
16
1
66

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史		科目名	世界史探究															第1学期	4月～5月	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						第2学期	6月～7月		6						
教科書・副教材・(発行所)													第1学期	5月		1					
① 世界史探求 詳説世界史 (山川出版社) ② NEW・STAGE 世界史詳覧 (浜島書店) ③ 詳説世界史 整理ノート (山川出版社) ④																					
学 習 の 重 点 目 標													第2学期	8月～9月		10					
世界史の大きな枠組みと展開を理解させることを主眼とする。それぞれの地域の歴史的な背景がその後の社会・文化等の多様性・複合性に及ぼした影響をとらえた上で、現代社会にどのようにつながっているかという歴史的思考力を身につけさせる。																					
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第3学期	10月～11月		12									
評価の趣旨	定期考査及び小テストの結果による評価。			提出課題・ノート検査で判断する。			授業への意欲と受講態度を評価。														
	評 価 の 基 準													第3学期	12月～1月		5				
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。			定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。			11月		9									
	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。																				
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			12月		5									
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。			各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			2月～3月		14									
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
総 時 間 数															95						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	地理歴史		科目名	世界史探究																	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →															
教科書・副教材・(発行所)																					
① 世界史探求 詳説世界史 (山川出版社) ② NEW・STAGE 世界史詳覧 (浜島書店) ③ 詳説世界史 整理ノート (山川出版社) ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
世界史の大きな枠組みと展開を理解させることを主眼とする。それぞれの地域の歴史的な背景がその後の社会・文化等の多様性・複合性に及ぼした影響をとらえた上で、現代社会にどのようにつながっているかという歴史的思考力を身につけさせる。																					
知識・技能							思考・判断・表現							主体的に学習に取り組む態度							
評価の趣旨	定期考査及び小テストの結果による評価。							提出課題・ノート検査で判断する。							授業への意欲と受講態度を評価。						
	評 価 の 基 準																				
A (十分満足できる状況)							B (概ね満足できる状況)							C (努力を要する状況)							
							B+			B-											
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。							定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。			定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。				定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。							探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。							探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。					
主体性・態度		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。							各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。							各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。					
	主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。							真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。							あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					
主体性・態度		振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。							振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。							振り返るべき内容をあまり考えることができていない。					
	総 時 間 数																			101	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	地理歴史		科目名	日本史探究																	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●									
教科書・副教材・(発行所)																					
① 日本史探究 高校日本史 (山川出版社)																					
②																					
③																					
④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
①日本史の楽しさに触れ、歴史上の出来事・人物などに興味を持たせ、苦手意識をなくすように学習させる。																					
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																					
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度														
	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価														
評 価 の 基 準																					
知・技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)														
				B+		B-															
定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。														
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。														
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。			各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。														
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
										総 時 間 数											
										104											

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	公民		科目名	倫理		D									第1学期	第1編第1章①発達心理学 ②認知心理学	1
単位数	2	学科	普通科	学年	2年							●	●	4月		③人格心理学 ④環境心理学	1
教科書・副教材・(発行所)														第1学期	第2章第1節①哲学の誕生 ②ソクラテス	1	
①教科書：倫理(数研出版：倫理704)															5月	③プラトン	1
②問題集：倫理整理ノート(数研出版)														第1学期	④アリストテレス	1	
③															5月	⑤ヘレニズム時代の思想	1
④														第1学期	★中間考査	1	
学 習 の 重 点 目 標															6月	第2節①古代ユダヤ教	1
より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。さらに、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。														第1学期	②イエスの教え ③キリスト教の成立と発展	2	
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度									第2学期	第3節イスラーム	1
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問			①レポートの内容 探究課題レポートを実施			①授業中の態度や意欲							第2学期		第4節①仏教以前の社会と思想	1
	②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施			②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施			②提出物の内容 ③自己評価 振り返りを実施								7月	②仏教の成立 ③仏教の展開	2
評 価 の 基 準														第2学期	第5節①孔子と儒家の思想	2	
A (十分満足できる状況)		B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)											第2学期	★期末考査	1
		B+		B-										第2学期		②儒教の展開 ③道家の思想(老荘思想)	2
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。		定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								第2学期	第3章第1節①ルネサンス ②宗教改革	2
														第2学期		③モリスト 第2節①近代科学の誕生	2
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。		探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。										第2学期	②ベーコンとデカルト	1
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。		応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。									第2学期		第3節①自然権と社会契約	2
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。		真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。										第2学期	②カント ③ヘーゲル	2
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。									第2学期		★中間考査	1
													第3学期		第4節①功利主義 ②実証主義と進化論 ③プラグマティズム	2	
															第3学期	④社会主義	2
														第3学期		第5節①現代思想の幕開け ②現代の実存哲学	2
															第3学期	③人間中心主義の問い直し ④新たな「他者」関係の構築	2
														第3学期		⑤あるべき社会を求めて 第6節現代社会と生き方	4
															第3学期	★期末考査	1
														第3学期		12月	
															第3学期	1月	第4章第1節①日本の風土と社会 ②日本神話の世界観
														第3学期		2月	③神話と倫理 第2節①外来思想の土着化
															第3学期	3月	②仏教の受容
														第3学期			③仏教の展開
															第3学期	2月	第3節①儒学の需要と展開
														第3学期		3月	②国学の誕生
															第3学期		③庶民の思想
														第3学期		★期末考査	1
															総 時 間 数		57

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数					
教科名	公民		科目名	政治・経済															4 月	5 月						
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →										●										
教科書・副教材・(発行所)													第 1 学 期	第1編 第1章 第1節①政治と法の意義と機能												
① 高等学校 政治・経済 (第一学習社)														4 月	②法の支配と立憲主義		1									
②														5 月	③基本的人権の保障と日本国憲法		1									
③														5 月	④現代社会における新しい人権		2									
④													5 月	⑤権利と義務との関係		1										
													5 月	⑥議会制民主主義と世界の政治体制		1										
													5 月	★中間考査		1										
学 習 の 重 点 目 標													第 2 学 期	第1編 第1章 第1節⑦国会の組織と立法												
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力をもつ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。														6 月	⑧内閣の機構と行政		2									
														6 月	⑨裁判所の機能と司法制度		2									
														6 月	第1編 第1章 第2節①地方自治制度と住民の権利		2									
													7 月	②政党政治と選挙		2										
													7 月	第1編 第1章 第3節①経済活動と市場		2										
													7 月	★期末考査		1										
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 2 学 期	第1編 第1章 第3節②経済主体と経済循環																
評 価 の 趣 旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価			8 月	③国民経済の大きさと経済成長		3													
	②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価			②課題レポートや問題集の提出状況を評価			8 月	④物価と景気変動		3													
							③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価			9 月	⑤市場の失敗と公害・消費者問題		3													
										9 月	第1編 第1章 第4節①財政のしくみと租税の意義		1													
評 価 の 基 準													第 3 学 期	第1編 第1章 第5節①金融のしくみとはたらき												
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)			9 月	★中間考査		1														
			B+			B-			10 月	第1編 第1章 第6節①中小企業・農業問題		3														
									10 月	②労使関係と労働問題		3														
知 ・ 技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			10 月	③社会保障制度と福祉のあり方		3										
													10 月	第2編 第1章 第1節①国際社会の変遷												
思 ・ 判 ・ 表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			11 月	②国際法の意義		2													
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。			11 月	③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み		2													
主 体 性 ・ 態 度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			12 月	★期末考査		1													
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。			12 月	第2編 第1章 第2節①日本の安全保障と国際貢献		3													
													12 月	第2編 第1章 第3節①貿易の現状と意義		3										
													12 月	②国民経済と国際収支		3										
													12 月	③為替相場の変動		2										
													1 月	④国際協調と国際経済機関の役割		2										
													1 月	第2編 第1章 第4節①日本の国際協力		2										
													2 月	第2編 第2章 2 地球環境と資源・エネルギー問題												
													2 月	5 人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた取り組み		1										
													2 月	★期末考査		1										
													3 月													
総 時 間 数															61											

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	公民		科目名	政治経済																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →															
教科書・副教材・(発行所)																					
① 教科書：高等学校 政治経済（第一学習社：政経706）																					
②																					
③																					
④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。そして、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を持つ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。また、学習した概念・理論を考察・選択・判断の手がかりとして、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。																					
知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問					①レポートの内容 探究課題レポートを実施					①授業中の態度や意欲										
	②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施					②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施					②提出物の内容 ③自己評価										
評 価 の 基 準																					
A (十分満足できる状況)					B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)											
					B+		B-														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。					定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。					探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。										
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。					各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。					各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。										
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。					真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。										
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。					振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。					振り返るべき内容をあまり考えることができていない。										
																			総 時 間 数	59	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	公民		科目名	政治経済																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →															
教科書・副教材・(発行所)																					
① 教科書：高等学校 政治経済（第一学習社：政経706）																					
②																					
③																					
④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。そして、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を持つ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。また、学習した概念・理論を考察・選択・判断の手がかりとして、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。																					
知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問					①レポートの内容 探究課題レポートを実施					①授業中の態度や意欲										
	②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施					②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施					②提出物の内容 ③自己評価										
評 価 の 基 準																					
A (十分満足できる状況)					B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)											
					B+		B-														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。					定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。					探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。										
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。					各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。					各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。										
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。					真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。										
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。					振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。					振り返るべき内容をあまり考えることができていない。										
総 時 間 数																			58		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	数学		科目名	数学Ⅱ															
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →	●												
教科書・副教材・(発行所)																			
① 高校数学Ⅱ (実教出版) ② ステップノート数学Ⅱ 新課程版 (実教出版) ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
① 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ② 家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																			
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	① 定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問				① 定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価				① 授業中の態度や意欲を評価					第1学期	4月 5月	1章 複素数と方程式 1節 式の計算 整式の乗法 因数分解 二項定理 分数式 ★中間考査	7	1	
	② 小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				② 定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価				② 課題レポートや問題集の提出状況を評価										6月 7月
評 価 の 基 準																			
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)										
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					第2学期	8月 9月	3節 高次方程式 整式の除法 剰余の定理と因数定理 高次方程式 4節 式と証明 等式の証明 不等式の証明 ★中間考査	14	1	
	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										10月 11月
	B+				B-				C										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現できている。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現できている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。					第3学期	12月 1月	3節 円の方程式 円の方程式 円と直線の関係 軌跡 4節 不等式の表す領域 円で分けられる領域 直線で分けられる領域	8		
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。										2月 3月
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					総 時 間 数					
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。					66					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数					
教科名	数学		科目名	数学Ⅱ																4月	5月		時数				
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →										第1学期	4月	第2章 複素数と方程式方程式 (第1章及び第2章の第2節までは1年次に学習済み) 第3節 高次方程式	2								
教科書・副教材・(発行所)																			5月	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 ★中間考査	7 1						
①教科書：高等学校 数学Ⅱ (数研出版：数Ⅱ710) ②補助教材：高等学校 数学Ⅱ ナビゲーションノート (数研出版) ③問題集：4プロセス 数学Ⅱ+B+C (数列, 統計的な推測, ベクトル) (数研出版) ④補助教材：4プロセス 数学Ⅱ 完成ノート (数研出版)																			第1学期	6月	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円と直線 第3節 軌跡と領域	2 7 7					
学 習 の 重 点 目 標																				7月	★期末考査	1					
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。</p> <p>①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>②論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。</p> <p>③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>																			第2学期	8月	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	11 6					
評 価 の 趣 旨																				9月	★中間考査	1					
評 価 の 基 準																			第2学期	10月	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	6 7					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">A (十分満足できる状況)</th> <th colspan="2">B (概ね満足できる状況)</th> <th rowspan="2">C (努力を要する状況)</th> </tr> <tr> <th>B+</th> <th>B-</th> </tr> </table>																				A (十分満足できる状況)	B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)	B+	B-	11月	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 ★期末考査
A (十分満足できる状況)	B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)																								
	B+	B-																									
知・技																			第3学期	12月	第6章 微分法と積分法 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	6 7					
思・判・表																				1月	第6章 微分法と積分法 第3節 積分法 問題演習	4 6					
主体性・態度																			2月	★期末考査	1						
知・技																			総 時 間 数		90						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	数学		科目名	数学Ⅱ																	
単位数	4	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●							
教科書・副教材・(発行所)																					
① 教科書：高等学校 数学Ⅱ (数研出版：数Ⅱ710) ② 補助教材：高等学校 数学Ⅱ ナビゲーションノート (数研出版) ③ 問題集：4プロセス 数学Ⅱ+B+C (数列, 統計的な推測, ベクトル) (数研出版) ④ 補助教材：4プロセス 数学Ⅱ 完成ノート (数研出版)																					
学習の重点目標																					
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ① 基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ② 論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 ③ 粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																					
知識・技能																					
評価の趣旨	① 定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問					① 定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価					① 授業中の態度や意欲を評価					第1学期	第2章 複素数と方程式方程式 (第1章及び第2章の第2節までは1年次に学習済み) 第3節 高次方程式		2		
	② 小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施					② 定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価					② 課題レポートや問題集の提出状況を評価						第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 ★中間考査			10 1	
思考・判断・表現																					
① 授業中の態度や意欲を評価 ② 課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③ 定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価																					
主体的に学習に取り組む態度																					
① 授業中の態度や意欲を評価 ② 課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③ 定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価																					
評価の基準																					
評 価 の 基 準																					
A (十分満足できる状況)																					
B (概ね満足できる状況)																					
C (努力を要する状況)																					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。					定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。					定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。					第2学期	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理		6 6		
	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。					定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。					定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。						第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 ★中間考査			6 7 1	
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。					探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。					第3学期	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法		8 8 11		
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。					応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。					応用的な問題にあまり取り組むことができていない。						★期末考査 問題演習			1 16	
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。					真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					第3学期	問題演習		13		
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。					振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。					振り返るべき内容をあまり考えることができていない。						★期末考査			1	
総 時 間 数																			118		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	数学		科目名	数学Ⅱ																	
単位数	4	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →									●	●					
教科書・副教材・(発行所)																					
① 教科書：高等学校 数学Ⅱ (数研出版) ② 副教材：4プロセス 数学Ⅱ+B+C (数研出版) ③ 副教材：チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B+C (数研出版) ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ②論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 ③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																					
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度									
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施						①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価						①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価								
	評 価 の 基 準																				
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)									
						B+			B-												
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。						定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。						探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。						探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。							
応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。						応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。						応用的な問題にあまり取り組むことができていない。									
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。								
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。								
総 時 間 数																					120

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	数学		科目名	数学B																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●	●							
教科書・副教材・(発行所)																					
① 教科書：高等学校 数学B (数研出版：数B711) ② 補助教材：高等学校 数学B ナビゲーションノート (数研出版) ③ 問題集：4プロセス 数学Ⅱ+B+C (数列，統計的な推測，ベクトル) (数研出版) ④ 補助教材：4プロセス 数学B 完成ノート (数研出版)																					
学習の重点目標																					
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ① 基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ② 論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 ③ 粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																					
知識・技能																					
評価の趣旨	① 定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問					① 定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価					① 授業中の態度や意欲を評価										
	② 小テストの出来具合 授業で学習した内容について小テストを実施					② 練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価					② 課題レポートや問題集の提出状況を評価										
主体的に学習に取り組む態度																					
③ 定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価																					
評価の基準																					
A (十分満足できる状況)																					
B (概ね満足できる状況)																					
C (努力を要する状況)																					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。					定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。					定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。					定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					
	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。					探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。										
思・判・表	応用的な問題にも計画的に組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。					応用的な問題に組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。					応用的な問題にあまり取り組むことができていない。										
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。					真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。										
主体性・態度	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。					振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。					振り返るべき内容をあまり考えることができていない。										
	総 時 間 数																				

第1学期
4月～5月
6月～7月
第2学期
8月～9月
10月～11月
12月～1月
第3学期
2月～3月

第1章 数列
第1節 等差数列と等比数列

★中間考査

第1章 数列
第1節 等差数列と等比数列
第2節 いろいろな数列

★期末考査

第1章 数列
第3節 漸化式と数学的帰納法

第2章 統計的な推測
第1節 確率分布

★中間考査

第2章 統計的な推測
第1節 確率分布

★期末考査

第2章 統計的な推測
第1節 確率分布
第2節 統計的な推測

第2章 統計的な推測
第2節 統計的な推測

★期末考査

6
1
4
6
1
8
2
1
13
1
2
5
6
1
57

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学		科目名	数学B														
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →									第1学期	第1章 数列 (第1節 等差数列と等比数列) (第2節 いろいろな数列)	8	
教科書・副教材・(発行所)																中間考査	1	
①教科書：高等学校 数学B (数研出版：数B711) ②問題集：4プロセスII+B+C ③参考書：Focus Gold II、B+C 5th Edition ④															第2学期	第1章 数列 (第2節 いろいろな数列) (第3節 漸化式と数学的帰納法)	15	
学 習 の 重 点 目 標																6月	7月	1
①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。															8月	9月	18	
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第3学期	第2章 統計的な推測 (第1節 確率分布) (第2節 統計的な推測)	18			
	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価					中間考査	1			
評 価 の 基 準															10月	11月	18	
															12月	1月	19	
															2月	3月	26	
															総 時 間 数		91	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	理科		科目名	物理																		
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →																
教科書・副教材・(発行所)																						
① 高等学校 物理 703 (啓林館) ② サンダイヤル ステップアップノート 物理 新訂版 (啓林館) ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
①日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験 などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																						
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度															
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施			①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施															
	評 価 の 基 準																					
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)																
				B+	B-																	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から発展まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストば合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。															
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。																
	発展的な内容も意欲的に学習し、身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。			発展的な内容も学習し、ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。		発展的な内容を学習することができていない。																
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言できている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがでない。																
	振り返るべき内容をきちんと考え、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容は考えられているが、次の取り組みに活かすことがあまりできていない。		振り返るべき内容をあまり考えられていない。																
総 時 間 数																						

第1学期
4月～5月
6月～7月
第2学期
8月～9月
10月～11月
第3学期
12月～1月
2月～3月

第1部 力学
第1章 物体の運動
1節 平面内の運動
2節 落体の運動
第2章 剛体のつりあい
1節 剛体のつりあい
【中間考査】
第3章 運動量と力積
1節 運動量の保存
2節 衝突と力学的エネルギー
第3章 問題演習
第4章 円運動と単振動
1節 円運動
【期末考査】
2節 慣性力
3節 単振動
第4章 問題演習
第5章 万有引力 1節 万有引力
第2部 熱力学
第1章 気体分子の運動
【中間考査】
第3部 波動
第1章 波の性質
第2章 音波
第3章 光波
波動問題演習
【期末考査】
第4章 電磁気
第1章 電場と電位
1節 静電気
2節 電場
3節 電位
4節 コンデンサー
電場と電位 問題演習
第2章 電流
1節 電流 2節 直流回路 3節 半導体
回路 問題演習
第3章 電流と磁場
第4章 電磁誘導と電磁波
電磁気 問題演習
【期末考査】

10
1
13
1
20
1
20
1
23
1
91

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	理科		科目名	化学基礎																
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →														
教科書・副教材・(発行所)																				
① 教科書：実教出版 化学基礎 704 ② ノート：実教出版 化学基礎 エブリィノート 授業のまとめ 704 ③ 問題集：実教出版 アクセスノート化学基礎 ④												第1学期	4月	1章 物質の構成 1節 物質の探究	1					
													5月	1 純物質と混合物 2 混合物の分離① 3 混合物の分離② 4 単体と元素 5 元素の確認 ★ 中間考査	1 1 1 1 1					
学 習 の 重 点 目 標													第2学期	6月	6 状態変化と熱運動	1				
① 主体的に自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。 ② 主体的に物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。														7月	2節 物質の構成粒子 1 原子 2 電子配置とイオン 3 周期表 2章 物質と化学結合 1節 イオン結合 1 イオン結合 2 イオン結晶 ★ 期末考査	4 1 1 1				
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第3学期	8月	2節 共有結合 1 分子と共有結合 2 分子の電子式と構造式 3 分子の極性 4 分子間力と分子結晶 5 高分子化合物と分子の利用 6 共有結合の結晶	4 3 3								
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通じた知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。			①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、			①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合(すべての問題ができていないか、答え合わせややり直しなどができているかなど)。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学ぼうとする姿勢があるか。			9月	3節 金属結合 1 金属結合と金属 2 金属の利用 ★ 中間考査	1 1								
	評 価 の 基 準												第4学期	10月	3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式 1 原子量・分子量・式量 2 物質 3 濃度 4 化学変化と化学反応式 5 化学反応式と量的関係①② 特集 化学史 ★ 期末考査	6 5 4 1 1				
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)			11月												
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			12月	3節 酸化還元反応 1 酸化と還元 2 酸化数と酸化剤・還元剤 3 酸化剤と還元剤の反応	2 2 2									
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			第5学期	1月	4 酸化還元反応の量的関係 5 金属のイオン化傾向 6 電池 特集 実用電池 7 酸化還元反応と金属の製錬 ★ 期末考査	3 2 2 3 1							
主体性・態度		応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。							2月						
	主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			3月										
振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。			総 時 間 数		60										

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	理科		科目名	化学基礎																	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●							
教科書・副教材・(発行所)																					
① 化学基礎(704)・化学基礎エブリィノート・アクセスノート化学基礎・(実教出版)																					
②																					
③																					
④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
主体的に物質とその変化に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。																					
評価の趣旨	知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度										
	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施					①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施					①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施										
評 価 の 基 準																					
知・技	A (十分満足できる状況)					B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)										
						B+		B-													
定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり, 基本から発展まで万遍なく理解できている。					定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり, 基本的な知識や概念があまり理解できていない。											
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み, 自分の考えを发表或し, 適切に表現できている。					探究的な課題やグループ活動に取り組み, ある程度自分の考えを述べたり, 表現できている。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。										
	発展的な内容も意欲的に学習し, 身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。					発展的な内容も学習し, ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。					発展的な内容を学習することができていない。										
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む, グループ活動においても積極的に発言できている。					真面目に学習に取り組んでいるが, もう少し積極性を要する部分がある。					学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちはない。										
	振り返るべき内容をきちんと考え, 次の取り組みにしっかり活かすことができている。					振り返るべき内容は考えられているが, 次の取り組みに活かすことがあまりできていない。					振り返るべき内容をあまり考えられていない。										
総 時 間 数																					
																					63

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	化学基礎																4月	5月	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →																
教科書・副教材・(発行所)																						
① 化学基礎(704)・化学基礎エブリィノート・アクセスノート化学基礎・(東京書籍)																						
②																						
③																						
④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
主体的に物質とその変化に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。																						
知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問					①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施					①授業中の態度や意欲					9 9 1						
	②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施					②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施					②提出物の内容 授業プリント・副教材											
										③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施												
評 価 の 基 準																						
A (十分満足できる状況)					B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)												
					B+		B-															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり, 基本から発展まで万遍なく理解できている。					定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。			定期考査と小テストば合計得点が30点未満であり, 基本的な知識や概念があまり理解できていない。					9 10 1						
	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み, 自分の考えを发表或し, 適切に表現することができる。					探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み, ある程度自分の考えを述べたり, 表現することができる。		探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み, ある程度自分の考えを述べたり, 表現することができる。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。											
思・判・表	発展的な内容も意欲的に学習し, 身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。					発展的な内容も学習し, ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。		発展的な内容を学習することができていない。			発展的な内容を学習することができていない。					14						
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む, グループ活動においても積極的に発言できている。					真面目に学習に取り組んでいるが, もう少し積極性を要する部分がある。		学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。			学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。											
主体性・態度	振り返るべき内容をきちんと考え, 次の取り組みにしっかり活かすことができている。					振り返るべき内容は考えられているが, 次の取り組みに活かすことがあまりできていない。		振り返るべき内容をあまり考えられていない。			振り返るべき内容をあまり考えられていない。					12 1						
総 時 間 数																			91			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	化学基礎																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →															
教科書・副教材・(発行所)																					
① 教科書：化基703「化学基礎academia」(実教出版)																					
② 副教材：エクセル化学総合版(実教出版)																					
③																					
④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1)日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養																					
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第1学期	4月	序章 化学と人間生活	1					
	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②振り返りシートや課題提出の記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価					5月	1章 物質の構成 2章 物質と化学結合	8 10					
評価の基準	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)				第2学期	6月	3章 物質の変化	12					
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				B+		B-		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					7月	1節 物質量と化学反応式 2節 酸と塩基	12 12					
知・技	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				第3学期	8月	終章 化学が拓く世界	14					
	応用的な問題にも計画的に組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に積極的に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。					9月	3節 酸化還元反応	1					
思・判・表	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				10月								
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。				11月								
主体性・態度													12月								
													1月								
総 時 間 数																					
58																					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	理科		科目名	化学																	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●							
教科書・副教材・(発行所)																					
① 化学(704)・アクセスノート化学・(実教出版)																					
②																					
③																					
④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
主体的に物質とその変化に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。																					
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度															
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問			①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施			①授業中の態度や意欲					第 2 学 期	8 月 ～ 9 月								
	②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施			②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施			②提出物の内容 授業プリント・副教材														
						③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施															
評 価 の 基 準																					
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)															
			B+		B-																
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり, 基本から発展まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストば合計得点が30点未満であり, 基本的な知識や概念があまり理解できていない。					第 3 学 期	10 月 ～ 11 月	7 7 7 7 1						
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み, 自分の考えを発表したり, 適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み, ある程度自分の考えを述べたり, 表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。					第 3 学 期	12 月 ～ 1 月	7 8							
	発展的な内容も意欲的に学習し, 身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。			発展的な内容も学習し, ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。			発展的な内容を学習することができていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む, グループ活動においても積極的に発言できている。			真面目に学習に取り組んではいるが, もう少し積極性を要する部分がある。			学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがなない。					第 3 学 期	2 月 ～ 3 月	7 8 1							
	振り返るべき内容をきちんと考え, 次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容は考えられているが, 次の取り組みに活かすことがあまりできていない。			振り返るべき内容をあまり考えられていない。														
総 時 間 数																					60

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	理科		科目名	生物基礎																	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●									
教科書・副教材・(発行所)																					
① 教科書：高校生物基礎（実教出版 生基704）																					
② ノート：高校生物基礎エブリィノート 授業のまとめ（実教出版 生基704）																					
③ 問題集：アクセスノート生物基礎																					
④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
①自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。																					
②生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。																					
知 識 ・ 技 能											思 考 ・ 判 断 ・ 表 現										
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。					①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。					①授業中の態度、発言や記述の内容										
	②小テスト 普段の学習の過程を通じた知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。					②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を評価する。					②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができていないか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。										
評 価 の 基 準											主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度										
A (十分満足できる状況)											B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)					
											B+					B-					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。					定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。					定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。					探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。										
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。					応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。					応用的な問題にあまり取り組むことができていない。										
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。					真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。										
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。					振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。					振り返るべき内容をあまり考えることができていない。										
											総 時 間 数										

第1学期
4月～5月
6月～7月
第2学期
8月～9月
10月～11月
第3学期
12月～1月
2月～3月

1章 生物の特徴
1節 生物の多様性と共通性
1 生物の多様性・共通性 / 2 生物の共通性と進化
3 細胞
2節 生物とエネルギー
1 代謝とエネルギー / 2 酵素と代謝
★中間考査
3 光合成 / 4 呼吸 / 5 エネルギーの流れ
2章 遺伝子とその働き
1節 遺伝情報とDNA
1 遺伝子の本体 / 2 DNAの複製と分配
特集 DNAの研究の歴史①・②
2節 遺伝情報とタンパク質の合成 1 遺伝子とタンパク質
★期末考査
2 タンパク質の合成 / 3 遺伝子の発現
4 ゲノムと遺伝子 / 特集 食を支える遺伝子研究
3章 ヒトのからだの調節
1節 体内環境
1 体内環境と恒常性 / 2 体液とその働き / 3 体液の調節
2節 体内環境の維持のしくみ 1 情報の伝達
★中間考査
2 自律神経による情報伝達 / 3 内分泌系による調節
4 内分泌系と自律神経系による調節
3節 免疫
1 生体防御と免疫 / 2 自然免疫のしくみ
3 獲得免疫のしくみ / 4 免疫と疾患
特集 風邪をひいた / 人類と感染症の歴史
★期末考査
4章 生物の多様性と生態系
1節 生態系とその成り立ち
1 生態系 / 2 植生とその変化 / 3 遷移のしくみ
2節 植生とバイオーム
1 世界のバイオームとその分布 / 2 日本のバイオーム
3節 生態系と生物の多様性
1 生物の多様性 / 2 生物どうしのつながり
4節 生態系のバランスと保全
1 生態系のバランス / 2 人間生活による環境への悪影響
3 生態系の保全の重要性 / 特集 トキ
★期末考査

3
4
4
1
5
4
3
2
1
6
4
6
4
1
6
4
5
5
2
1
7
5
4
4
2
1
94

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	生物		単位数	3	学科	普通科											学年	2年	
教科書・副教材・(発行所)																						
① 生物基礎・ニューグローバル生物基礎・(東京書籍)																						
② 生物・ニューグローバル生物・(東京書籍)																						
③																						
④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す																						
評価の趣旨	知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度											
	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施					①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施					①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施											
評 価 の 基 準																						
知・技	A (十分満足できる状況)					B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)											
						B+		B-														
定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から発展まで万遍なく理解できている。					定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。			定期考査と小テストば合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現できている。					探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現できている。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。											
	発展的な内容も意欲的に学習し、身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。					発展的な内容も学習し、ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。					発展的な内容を学習することができていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言できている。					真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。											
	振り返るべき内容をきちんと考え、次の取り組みにしっかり活かすことができている。					振り返るべき内容は考えられているが、次の取り組みに活かすことがあまりできていない。					振り返るべき内容をあまり考えられていない。											
総 時 間 数																						
97																						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅡ		単位数	3	学科	普通科													学年
教科書・副教材・(発行所)																						
① VISTA English Communication Ⅱ(三省堂) ② VISTA English Communication Ⅱ WORKBOOK(三省堂) ③ 英単語ターゲット1200 ④ 英単語ターゲット1200 Workbook2																						
学 習 の 重 点 目 標																						
基本的な英単語、英文法を理解する。外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																						
	知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。					課題や提出物の出来具合により評価する。					日常の学習態度、ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動などを評価する。											
	評 価 の 基 準																					
	A (十分満足できる状況)					B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)											
						B+		B-														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。					定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。											
	評 価 の 基 準																					
思・判・表	課題や提出物にも計画的に取り組む、適切に表現し理解することができている。					課題や提出物にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。					課題や提出物にあまり取り組むことができていない。											
	評 価 の 基 準																					
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。振り返るべき内容を表現することが十分できている。					真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。					真面目に学習に取り組むことができない。振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
	評 価 の 基 準																					
主体性・態度	英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを表現したり、適切に表現することができている。					英会話やペアワーク活動に取り組む、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。					英会話やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
	評 価 の 基 準																					
																			第1学期	4月 5月	Lesson 1 World Dance Performances	11
																			第1学期	6月 7月	Lesson 2 A Piece of Cake	16
																			第2学期	8月 9月	Lesson 3 Quokka	20
																			第2学期	10月 11月	Lesson 4 Designing Stamps	19
																			第3学期	12月 1月	Lesson 5 Mont-Saint-Michel	24
																			第3学期	2月 3月	Lesson 6 Smart Agriculture	1
																			総 時 間 数		91	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅡ						D										Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan Part 1 Part 2 Part 3	4
単位数	4	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●									4
教科書・副教材・(発行所)																					
① LANDMARK Fit English Communication Ⅱ (啓林館) ② LANDMARK Fit English Communication Ⅱ WORKBOOK (啓林館) ③ 英単語ターゲット1400 (旺文社) ④ 英単語ターゲット1400 Workbook 2,3 (旺文社)																					
学 習 の 重 点 目 標																					
基本的な文法事項を理解し、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、学んだ事項を応用しながら、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																					
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度															
評価の趣旨	小テスト及び定期考査による合計得点で評価する。授業内で取り上げた内容とワークブックから出題する。			提出物の出来具合や授業内での発言やグループ活動での発表内容で評価する。			提出物の提出状況や授業内での発言や授業への参加などの積極性を評価する。														
評 価 の 基 準																					
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)															
										B+			B-								
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基礎を理解し、それを応用することができる。			定期考査と小テストの合計が55~79点であるとき。			定期考査と小テストの合計が30~54点であるとき。														
	グループ活動や発表で積極的に発言でき、自分の意見をわかりやすく述べることができる。			課題の内容で不正確な部分はあるが、学んだ事項を使いながら、正しい文章を作ろうとしているとき。			課題や提出物に取り組めておらず、授業内でも既習事項の適切な表現を使うことができていないとき。														
思・判・表	課題の内容から、学んだ事項が身につけていると見受けられたとき。																				
	提出物が期限内に提出されており、自己の学習内容が定着していると考えられるとき。			提出物を最終提出期限内に提出できている。既習事項が定着していると考えられるとき。			提出物が提出されておらず、自己の学習が定着していることが見受けられないとき。														
主体性・態度	主体的に授業や活動に取り組んでおり、授業内でも積極的に発言できている。			授業内での発言をためらう傾向にあるが、授業やペア、グループでの活動に参加しようとしている。			ペアワークやグループ活動や発表にあまり積極的でない。参加しようという意欲が見られない。														
										総 時 間 数										115	
										第1学期	4月									4	
											5月									4	
																				5	
																				5	
										第2学期	6月									5	
											7月									5	
																				5	
																				5	
										第3学期	8月									6	
											9月									6	
																				6	
																				6	
										第4学期	10月									6	
											11月									6	
																				7	
																				7	
										第5学期	12月									8	
											1月									8	
										第6学期		2月									8
											3月									8	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅡ														
単位数	4	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●	●				
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：LANDMARK English Communication II (啓林館)																		
② 問題集：LANDMARK English Communication II ワークブック (啓林館)																		
③ 副教材：改訂第2版 キクタン【Basic】4000 語レベル (アルク)																		
④ 副教材：改訂第2版 キクタン【Advanced】6000 語レベル (アルク)																		
学 習 の 重 点 目 標																		
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。																		
(1) 聞くこと (2) 読むこと (3) 話すこと [やり取り] (4) 話すこと [発表]																		
(5) 書くこと																		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度									
評価の趣旨	①定期考査の得点 (教科書および副教材、単語帳の内容を中心に作問)				①グループ・ペア活動の内容 (テーマのもと、英語で自分の考えを表現する活動を毎週実施)				①授業中の態度・意欲				第1学期	4月	Introduction	1		
	②小テストの得点 (単語帳の内容に関して毎週10分間の小テストを実施)				②探求課題レポートの内容 (2単元毎に探求活動を行い、プレゼン課題を実施)				②提出物の状況 (問題集)								5月	LESSON1: A Swedish Girl's Discoveries in Japan
評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)									
					B+		B-											
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期テストと小テストの合計得点が55~79点である。		定期テストと小テストの合計得点が30~54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				第2学期	6月	LESSON2: A Message from Emperor Penguins	10		
																	7月	LESSON3: Tokyo's Seven-minute Miracle
思・判・表	探求的な課題やグループ・ペア活動に積極的に取り組み、自分自身の考えを発表したり、適切に表現できている。				探求的な課題やグループ・ペア活動に積極的に取り組み、ある程度自分自身の考えを述べたり、適切に表現できている。				探求的な課題やグループ・ペア活動にあまり取り組むことができていない。				第3学期	8月	LESSON3: Tokyo's Seven-minute Miracle	4		
	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。				日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。				日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。								9月	LESSON4: Seeds for the Future
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。				グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。				コミュニケーションを取ることができていない。				第1学期	10月	LESSON5: Language Change over Time	12		
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。				概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。				あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。								11月	LESSON6: Gaudi and His Messenger
総 時 間 数																		
																★期末考査		1

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	外国語【英語】		科目名	論理・表現 I																		
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●												
教科書・副教材・(発行所)																						
① BIG DIPPER English Logic and Expression I (数研出版)																						
② BIG DIPPER English Logic and Expression I レッスンブック Grammar in 21 Lessons (数研出版)																						
③																						
④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
①英語の文構造や論理表現を理解させ、適切な文章を作ることができることを目指す。																						
②複雑な日本語の表現にとらわれず、自分が持っている語彙で表現しようとする意欲を養う。																						
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				第1学期	4月	Lesson 5	3								
	英語の文構造の決まりや特徴を理解している。			自分の意思を伝える表現力を身に着けている。 それを伝えるために、文の構造や論理展開に注意しながら、適切な英語の文章を作ることができる。			書き手、読み手にも自分の意思が伝わるように、分構造や論理展開に注意しながら、英語の文章を作ろうとしている。					5月	Lesson 6 Lesson 7	2 4								
評価の基準	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)				第2学期	6月	Lesson 8	4								
	定期試験と小テストの合計得点が80点以上であり、学んできた事項を理解していることが見受けられるとき。			定期考査と小テストの合計が55～79点であるとき。			定期考査と小テストの合計が30～54点であるとき。					7月	Lesson 9 Lesson 11	5 6								
知・技	B+			B-							第3学期	8月	Lesson 12	6								
	授業または提出課題の内容で、学んだ事項を適切に理解できていると見受けられ、正しく応用できているとき。			課題の内容で不正確な部分はあるが、学んだ事項を使いながら、正しい文章を作ろうとしているとき。								提出物に取り組めておらず、授業内でも既習事項の適切な表現を使うことができていないとき。				9月	Lesson 13 Lesson 14	6 6				
思・判・表											第4学期	10月	Lesson 15	5								
												提出物が期限内に提出されており、自己の学習内容が定着していると考えられるとき。			提出物を最終提出期限内に提出できている。既習事項が定着していると考えられるとき。			提出物が提出されておらず、自己の学習が定着していることが見受けられないとき。				11月
主体性・態度											第5学期	12月	Lesson 19	7								
												主体的に授業や活動に取り組んでおり、授業内でも積極的に発言できている。			授業内での発言をためらう傾向にあるが、授業やペア、グループでの活動に参加しようとしている。			ペアワークやグループ活動や発表にあまり積極的でない。参加しようという意欲が見られない。				1月
																				総 時 間 数		77

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	外国語【英語】		科目名	論理・表現Ⅱ																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●	●							
教科書・副教材・(発行所)																					
① Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope (啓林館) ② Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope WORKBOOK (啓林館) ③ 副教材: Vision Quest 総合英語 3rd Edition ④ 副教材: SCRAMBLE Basic 英文法・語法 3rd Edition																					
学 習 の 重 点 目 標																					
「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。																					
評 価 の 基 準																					
知識・技能																					
評価の趣旨	①定期考査の得点 (教科書および副教材の内容を中心に作問) ②小テストの得点 (文法事項毎に小テストを実施)						①問題集の取り組み内容 ②グループ・ペア活動の内容 (英語で自分の考えを表現する活動を定期的実施) ③ライティング課題の内容						①授業中の態度や意欲 ②ペア・グループ活動 ③提出物の状況						主体的に学習に取り組む態度		
	A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)											
						B+			B-												
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができる。						定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。			定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。								
思・判・表	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。						日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。			日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。											
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。						グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。			コミュニケーションを取ることができていない。											
粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。						概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。			あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。											
総 時 間 数																					
																				94	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	外国語【英語】		科目名	論理・表現Ⅱ																	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →															
教科書・副教材・(発行所)																					
① Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope (啓林館) ② Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope WORKBOOK (啓林館) ③ 副教材: Vision Quest 総合英語 3rd Edition ④ 副教材: SCRAMBLE 英文法・語法 4th Edition																					
学 習 の 重 点 目 標																					
「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。																					
評 価 の 基 準																					
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度											
	①定期考査の得点 (教科書および副教材の内容を中心に作問) ②小テストの得点 (文法事項毎に小テストを実施)			①問題集の取り組み内容 ②グループ・ペア活動の内容 (英語で自分の考えを表現する活動を定期的実施) ③ライティング課題の内容						①授業中の態度や意欲 ②ペア・グループ活動 ③提出物の状況											
評 価 の 基 準																					
知・技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)											
				B+			B-														
定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができる。			定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。			定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができる。			日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができる。						日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。											
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。						応用的な問題にあまり取り組むことができていない。											
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。			グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。						コミュニケーションを取ることができていない。											
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。			概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。						あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。											
総 時 間 数																				94	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数																											
教科名	外国語【英語】		科目名	論理・表現Ⅱ																																												
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →																																										
教科書・副教材・(発行所)																																																
① Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope (啓林館) ② Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope WORKBOOK (啓林館) ③ 副教材: Vision Quest 総合英語 3rd Edition ④ 副教材: SCRAMBLE 英文法・語法 4th Edition																																																
学 習 の 重 点 目 標																																																
「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。																																																
評 価 の 基 準																																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 30%;">知識・技能</th> <th style="width: 30%;">思考・判断・表現</th> <th style="width: 25%;">主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価の趣旨</td> <td>①定期考査の得点 (教科書および副教材の内容を中心に作問)</td> <td>①問題集の取り組み内容</td> <td>①授業中の態度や意欲</td> </tr> <tr> <td>②小テストの得点 (文法事項毎に小テストを実施)</td> <td>②グループ・ペア活動の内容 (英語で自分の考えを表現する活動を定期的実施)</td> <td>②ペア・グループ活動</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>③ライティング課題の内容</td> <td>③提出物の状況</td> </tr> </table>																							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の趣旨	①定期考査の得点 (教科書および副教材の内容を中心に作問)	①問題集の取り組み内容	①授業中の態度や意欲	②小テストの得点 (文法事項毎に小テストを実施)	②グループ・ペア活動の内容 (英語で自分の考えを表現する活動を定期的実施)	②ペア・グループ活動			③ライティング課題の内容	③提出物の状況												
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																																													
評価の趣旨	①定期考査の得点 (教科書および副教材の内容を中心に作問)	①問題集の取り組み内容	①授業中の態度や意欲																																													
	②小テストの得点 (文法事項毎に小テストを実施)	②グループ・ペア活動の内容 (英語で自分の考えを表現する活動を定期的実施)	②ペア・グループ活動																																													
		③ライティング課題の内容	③提出物の状況																																													
評 価 の 基 準																																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">A (十分満足できる状況)</th> <th colspan="2">B (概ね満足できる状況)</th> <th rowspan="2">C (努力を要する状況)</th> </tr> <tr> <th>B+</th> <th>B-</th> </tr> <tr> <td>知・技</td> <td>定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができる。</td> <td>定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。</td> <td>定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。</td> <td>定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。</td> </tr> <tr> <td>思・判・表</td> <td>日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。</td> <td>日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。</td> <td>日常や社会的な話題について英語を通して理解することができる。</td> <td>日常や社会的な話題について英語を通して理解できていない。</td> </tr> <tr> <td>主体性・態度</td> <td>グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。</td> <td>グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。</td> <td>グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。</td> <td>コミュニケーションを取ることができていない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。</td> <td>概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。</td> <td>概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。</td> <td>あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。</td> </tr> </table>																							A (十分満足できる状況)	B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)	B+	B-	知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができる。	定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。	思・判・表	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。	日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。	日常や社会的な話題について英語を通して理解することができる。	日常や社会的な話題について英語を通して理解できていない。	主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。	グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。	グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。	コミュニケーションを取ることができていない。		粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。	概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。	概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。	あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。
	A (十分満足できる状況)	B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)																																												
		B+	B-																																													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができる。	定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。																																												
思・判・表	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。	日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。	日常や社会的な話題について英語を通して理解することができる。	日常や社会的な話題について英語を通して理解できていない。																																												
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。	グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。	グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。	コミュニケーションを取ることができていない。																																												
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。	概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。	概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。	あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。																																												
第 1 学 期																																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4月</td> <td>Introduction</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Lesson 1 What is your future goal?</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">5月</td> <td>Lesson 2 What school events do you have?</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>★中間考査</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">6月</td> <td>Lesson 2 What school events do you have?</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>Lesson 3 Who is the best athlete?</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">7月</td> <td>Lesson 4 Is social media safe?</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>★期末考査</td> <td>1</td> </tr> </table>																						4月	Introduction	1	Lesson 1 What is your future goal?	7	5月	Lesson 2 What school events do you have?	3	★中間考査	1	6月	Lesson 2 What school events do you have?	4	Lesson 3 Who is the best athlete?	7	7月	Lesson 4 Is social media safe?	4	★期末考査	1							
4月	Introduction	1																																														
	Lesson 1 What is your future goal?	7																																														
5月	Lesson 2 What school events do you have?	3																																														
	★中間考査	1																																														
6月	Lesson 2 What school events do you have?	4																																														
	Lesson 3 Who is the best athlete?	7																																														
7月	Lesson 4 Is social media safe?	4																																														
	★期末考査	1																																														
第 2 学 期																																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">8月</td> <td>Lesson 4 Is social media safe?</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Lesson 5 How does overusing energy affect us?</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">9月</td> <td>Lesson 6 What are some differences?</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">10月</td> <td>★中間考査</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">11月</td> <td>Lesson 8 Is Japan open enough?</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>Lesson 9 What if you were rich?</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">12月</td> <td>Lesson 10 How might AI affect our lives?</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>★期末考査</td> <td>1</td> </tr> </table>																						8月	Lesson 4 Is social media safe?	3	Lesson 5 How does overusing energy affect us?	7	9月	Lesson 6 What are some differences?	7	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?	4	10月	★中間考査	1	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?	3	11月	Lesson 8 Is Japan open enough?	7	Lesson 9 What if you were rich?	8	12月	Lesson 10 How might AI affect our lives?	3	★期末考査	1		
8月	Lesson 4 Is social media safe?	3																																														
	Lesson 5 How does overusing energy affect us?	7																																														
9月	Lesson 6 What are some differences?	7																																														
	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?	4																																														
10月	★中間考査	1																																														
	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?	3																																														
11月	Lesson 8 Is Japan open enough?	7																																														
	Lesson 9 What if you were rich?	8																																														
12月	Lesson 10 How might AI affect our lives?	3																																														
	★期末考査	1																																														
第 3 学 期																																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">12月</td> <td>Lesson 10 How might AI affect our lives?</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>Lesson 11 What is a healthy life?</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1月</td> <td>★期末考査</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Lesson 11 What is a healthy life?</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2月</td> <td>Lesson 12 What is important when we sell chocolate?</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3月</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>																						12月	Lesson 10 How might AI affect our lives?	5	Lesson 11 What is a healthy life?	7	1月	★期末考査	1	Lesson 11 What is a healthy life?	1	2月	Lesson 12 What is important when we sell chocolate?	8			3月											
12月	Lesson 10 How might AI affect our lives?	5																																														
	Lesson 11 What is a healthy life?	7																																														
1月	★期末考査	1																																														
	Lesson 11 What is a healthy life?	1																																														
2月	Lesson 12 What is important when we sell chocolate?	8																																														
3月																																																
総 時 間 数																				94																												

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	外国語【英語】		科目名	実践英語 I																		
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●												
教科書・副教材・(発行所)																						
① Interactive 4 skills ① CEFR A2 LEVEL (旺文社) ② ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																						
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。						ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動、英作文の仕上がりになどを評価する。						日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストの出来具合により評価を行う。									
	評 価 の 基 準																					
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)										
						B+			B-													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。						定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。			定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。									
	思・判・表	英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを發表したり、適切に表現することができている。						英会話やペアワーク活動に取り組む、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。						英会話やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。								
主体性・態度		予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。								
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。									
総 時 間 数																						
																				60		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数				
教科名	保健体育		科目名	体育(男)																				
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →		●																
教科書・副教材・(発行所)																								
① 現代高等保健体育(大修館書店) ② Active Sports2023[総合版](大修館書店) ③ ④																								
学 習 の 重 点 目 標																								
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																								
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度																		
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト(記録)の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合			①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み			①授業中の態度や意欲 ②授業への準備(服装・体操)に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度																	
	評 価 の 基 準																							
A(十分満足できる状況)			B(概ね満足できる状況)			C(努力を要する状況)																		
			B+			B-																		
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。			実技テストと新体力テストの合計が55~79点である。 3学期のみ実技			実技テストと新体力テストの合計が30~54点である。 3学期のみ実技			実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考														
	思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。			グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
主体性・態度		運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。																
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができている。																	
										総 時 間 数														
																				95				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	保健体育		科目名	体育(女)															
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →		●	●										
教科書・副教材・(発行所)																			
① 現代高等保健体育(大修館書店) ② Active Sports2022[総合版](大修館書店) ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト(記録)の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合			①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み			①授業中の態度や意欲 ②授業への準備(服装・体操)に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度												
	評 価 の 基 準																		
	A(十分満足できる状況)			B(概ね満足できる状況)			C(努力を要する状況)												
				B+		B-													
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。			実技テストと新体力テストの合計が55~79点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30~54点である。 3学期のみ実技	実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考												
	思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。 真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
主体性・態度		運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
																		● 期末考査	
総 時 間 数																	98		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数																
教科名	芸術		科目名	音楽Ⅱ																														
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →	●																											
教科書・副教材・(発行所)																																		
① MOUSAⅡ ② 音楽の研究プリント ③ ワークプリント ④ クロムブック																																		
学 習 の 重 点 目 標																																		
音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる応用的な資質・能力を育成する。																																		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																									
評価の趣旨	曲想と音楽の構造か歌詞、文化的・歴史的背景などの関わりと音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能や知識が身についているか評価する。【実技試験】【定期試験】				自己のイメージをを持って音楽表現や創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるか評価する。【レポート】【実技試験】				主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとする態度について評価する。【レポート】【授業態度】																									
	評 価 の 基 準																																	
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)																									
					B+		B-																											
知・技	学習活動に必要な知識や技能が十分に身につけており、高い理解力がある。				学習活動に必要な知識や技能が概ね身につけている。		学習活動に必要な知識や技能がある程度身につけている。		学習活動に必要な知識や技能、理解力が不足しており、試験や発表に反映できていない。																									
	思・判・表	演奏方法を工夫しながら知識や技術を十分に身につけることができている。				演奏方法を工夫しながら知識や技術のある程度身につけることができている。		演奏方法を工夫しながら知識や技術のある程度身につけることができている。		演奏発表をきちんと行うことができず、知識や技術を身につけることができている。																								
楽譜等の教材にあるさまざまな情報から積極性の高い演奏表現や鑑賞表現ができている。				楽譜等の教材にあるさまざまな情報から、ある程度の演奏表現や鑑賞表現ができている。		楽譜等の教材にあるさまざまな情報から、ある程度の演奏表現や鑑賞表現ができている。		教材にあるさまざまな情報を読み取ることができず、演奏表現や鑑賞表現ができている。																										
主体性・態度	積極的に楽曲鑑賞に取り組む姿勢が見られる。				楽曲鑑賞にある程度取り組む姿勢が見られる。		楽曲鑑賞にある程度取り組む姿勢が見られる。		楽曲鑑賞に取り組もうとする姿勢が見られない。																									
	積極的に楽曲演奏・創作活動に取り組む姿勢が見られる。				楽曲演奏・創作活動にある程度取り組む姿勢が見られる。		楽曲演奏・創作活動にある程度取り組む姿勢が見られる。		楽曲演奏・創作活動に取り組もうとする姿勢が見られない。																									
総 時 間 数																																		

総 時 間 数

64

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	芸術		科目名	美術																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●										
教科書・副教材・(発行所)																					
① 高校美術2 (38-光村・美Ⅱ-701)																					
②																					
③																					
④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を学び、育成することを目指す。																					
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第1学期	4月 5月	・ミーティング 【絵画】スケッチ 【デザイン】ポスター制作 【デザイン・工芸】モダンテクニック 【鑑賞】作品鑑賞	1 1 2 5 1					
	①作品の出来具合(作品完成度) ②レポートの出来具合				①作品の表現力(独創的・オリジナリティ) ②作品制作の進捗具合				①授業態度(教師の観察) ②学習意欲(制作進捗度合い) ③提出物等												
評 価 の 基 準																					
知・技	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)				第2学期	8月 9月	【絵画】スケッチ 【デザイン】写真加工 【デザイン】シャツデザイン 【木工】木箱デザイン 【デザイン】ポートフォリオ 【鑑賞】作品鑑賞	1 5 4 7 2 1					
	基本的な知識や技術が十分に理解できており、作品を作ることができる。				B+ 基本的な知識や技術が理解できており、作品を作ることができる。		B- 基本的な知識や技術がある程度理解できており、作品を作ることができる。		基本的な知識や技術、理解力が不足し、作品を作ることができていない。												
思・判・表	作品を計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。				作品をある程度、計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。				作品を計画的に制作することができず、知識や技術を身に付けることができていない。				10月 11月	【絵画】スケッチ 【デザイン】色の表現(モノクロの世界) 【デザイン】ポートフォリオ 【課題】レポート	1 5 2 1						
	自分の考えを独創的・オリジナリティをいかして表現することができる。				自分の考えをある程度、表現することができる。				自分の考えを思い通りに表現することができていない。												
主体性・態度	積極的に鑑賞の創造活動を進んで取り組もうとしている。				鑑賞の創造活動にある程度、取り組もうとしている。				鑑賞の創造活動に取り組もうとしていない。				第3学期	12月 1月	【絵画】スケッチ 【デザイン】コラージュ 【鑑賞】作品鑑賞	1 6 1					
	積極的に作品作りを進んで取り組んでいる。				制作において、積極性を要する部分がある。				前向きな気持ちで制作に取り組めていない。												
															2月 3月	【絵画】スケッチ 【デザイン】ポートフォリオ 【課題】レポート	1 3 1				
																		総 時 間 数		60	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数												
教科名	芸術		科目名	書道Ⅱ																											
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →	●										第1学期	4月	はじめに 漢字の変遷と様々な書体 漢字の書（篆書）	1 1											
教科書・副教材・（発行所）																		5月	泰山刻石 （隸書） 乙瑛碑 居延漢簡	4 2 2											
① 高等学校芸術科書道Ⅱ（38光村・書I704） ② ③ ④																		6月	漢字の書（草書） 十七帖 自叙帖 書譜	2 1 2											
学 習 の 重 点 目 標																		7月	漢字の書（行書） 集王聖教序 温泉銘	2 1											
書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。																	評 価 の 基 準		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		第2学期		8月	祭姪文稿 争坐位文稿 顔真卿の三稿	6 6 8		
評価の趣旨																	A（十分満足できる状況）		B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）		B+		B-		第3学期		10月	漢字の書（楷書） 薦季直表 始平公造像記 孟法師碑 樂毅論	2 3 2 2
知識・技																	作品創作のための技能・知識正 確に理解し十二分に身に付けて いる。		ほぼ理解し概ね 身に付けてい る。		理解しようとし ているがあまり 身に付けていな い。		理解しようとし てほとんど身に 付けていない		第3学期		11月	漢字創作 書初め作品 仮名の書 平仮名 変体仮名 古筆（高野切）	4 1 1 2		
思・判・表																	創造的な構想や表現が意図的に 基づいてよく工夫し表現するこ とが十二分にできている。		創造的な構想や表現が概ねでき ている。		創造的な構想や表現があまりで きていない。		書に対する自分の考え方・捉え 方ができていない。		第3学期		12月	創 作 漢字仮名交じり書	5		
主体性・態度																	積極的に与えられた課題や作品 創作に取り組んでいる。		作品創作において、積極的に取 り組もうとしている。		作品創作に全く取り組んでいな い。		鑑賞の各活動に取り組もうとし ていない。		第3学期		2月				
積極的に鑑賞の各活動に取り組 んでいる。																	鑑賞の各活動に積極的にと取り 組もうとしている。		鑑賞の各活動に取り組もうとし ていない。		第3学期		3月			総 時 間 数		60			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数			
教科名	家庭		科目名	家庭基礎																			
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●	●				第1学期	4月 ～ 5月	第6章 食生活をつくる	8		
教科書・副教材・(発行所)																							
① 教科書：家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)																							
②																							
③																							
④																							
学 習 の 重 点 目 標																							
生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																							
(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけるようにする。																							
(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を通して課題を解決する力を養う。																							
(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。																							
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度																	
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書の内容を中心に作問			①練習問題や課題への取組状況 や記述内容を評価。			①授業中の態度や意欲				第2学期												
	②作品または小テストの出来具合			②単元毎の探究課題レポートの内容を評価。 ③探究課題について、グループ活動状況や発表の内容及び伝え方を評価。			②提出物の内容 プリント ③各単元終了後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価																
評 価 の 基 準																							
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)																	
			B+			B-																	
知・技	定期考査と作品または小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用までまんべんなく理解することができている。			定期考査と作品または小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と作品または小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と作品または小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				第3学期									
				実践を評価・改善することが概ねできているが、考察したことについての根拠が曖昧であったり、論理的に表現することが十分とはいえない。			実践を評価・改善すること、考察したことについて根拠に基づいて論理的に表現することができていない。																
思・判・表	課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。			課題を設定し、解決策を構想することが概ねできている。			課題を設定し、解決策を構想することができていない。							第4学期									
				課題の解決に真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			課題の解決にあまり前向きな気持ちで取り組めていない。																
主体性・態度	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、各単元の課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとしている。			自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。			自分や家庭、地域の生活の充実向上につながる活動だったか考えることはできているがうまく表現できていない。							総 時 間 数									
				自分や家庭、地域の生活の充実向上につながる活動だったかあまり考えられない。																			
																				★期末考査		61	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
教科名	家庭		科目名	子どもの発達と保育																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
教科書・副教材・(発行所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
① 教科書：保育基礎（実教出版） ② ③ ④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
学 習 の 重 点 目 標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴，子どもの福祉や文化について理解し，関連する技術を身につけ，保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
評 価 の 基 準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
知識・技能										思考・判断・表現										主体的に学習に取り組む態度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書の内容を中心に作問					①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施					①授業中の態度や意欲					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第1学期</td> <td>4月</td> <td>第1章 子どもの保育</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>第2章 子どもの成長 1節 子どもの発達の特徴 2節 子どものからだの発達</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>3節 子どもの心の発達</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>第4章 子どもの文化</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">★期末考査</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第2学期</td> <td>8月</td> <td>子どもとかかわってみよう（保育実習）</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>第3章 子どもの生活 1節 子どもの生活と養護</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>2節 生活習慣の形成</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>3節 健康管理と事故防止</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">★期末考査</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第3学期</td> <td>12月</td> <td>5章 子どもの福祉 1節 子ども観</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>2節 子どもの福祉</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>3節 子育て支援</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">★期末考査</td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">知・技</td> <td colspan="10" style="text-align: center;">思・判・表</td> <td colspan="10" style="text-align: center;">主体性・態度</td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">A (十分満足できる状況)</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">B (概ね満足できる状況)</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">C (努力を要する状況)</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td colspan="10"></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">B+</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">B-</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td colspan="10">定期考査と作品または小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用までまんべなく理解することができている。</td> <td colspan="5">定期考査と作品または小テストの合計得点が55～79点である。</td> <td colspan="5">定期考査と作品または小テストの合計得点が30～54点である。</td> <td colspan="10">定期考査と作品または小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。</td> </tr> <tr> <td colspan="10">探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを發表したり、適切に表現することができている。</td> <td colspan="5">探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。</td> <td colspan="5">探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことが出来ない。</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td colspan="10">応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身につけることができている。</td> <td colspan="5">応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。</td> <td colspan="5">応用的な問題にあまり取り組むことができていない。</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td colspan="10">課題の解決に向けて粘り強く取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。</td> <td colspan="5">課題の解決に真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。</td> <td colspan="5">課題の解決にあまり前向きな気持ちで取り組めていない。</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td colspan="10">子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。</td> <td colspan="5">子どもの発達や保育への関心を持ち、学習に取り組むことはできているが、もう少し実践的な態度を身につける余地がある。</td> <td colspan="5">子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度が身につけていない。</td> <td colspan="10"></td> </tr> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">総 時 間 数</td> <td colspan="10" style="text-align: center;">64</td> </tr> </table>										第1学期	4月	第1章 子どもの保育	3	5月	第2章 子どもの成長 1節 子どもの発達の特徴 2節 子どものからだの発達	3	6月	3節 子どもの心の発達	4	7月	第4章 子どもの文化	6	★期末考査				第2学期	8月	子どもとかかわってみよう（保育実習）	7	9月	第3章 子どもの生活 1節 子どもの生活と養護	9	10月	2節 生活習慣の形成	8	11月	3節 健康管理と事故防止	8	★期末考査				第3学期	12月	5章 子どもの福祉 1節 子ども観	7	1月	2節 子どもの福祉	7	2月	3節 子育て支援	2	3月	★期末考査			知・技										思・判・表										主体性・態度										A (十分満足できる状況)										B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)																									B+					B-															定期考査と作品または小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用までまんべなく理解することができている。										定期考査と作品または小テストの合計得点が55～79点である。					定期考査と作品または小テストの合計得点が30～54点である。					定期考査と作品または小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを發表したり、適切に表現することができている。										探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことが出来ない。															応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身につけることができている。										応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。					応用的な問題にあまり取り組むことができていない。															課題の解決に向けて粘り強く取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。										課題の解決に真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					課題の解決にあまり前向きな気持ちで取り組めていない。															子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。										子どもの発達や保育への関心を持ち、学習に取り組むことはできているが、もう少し実践的な態度を身につける余地がある。					子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度が身につけていない。															総 時 間 数										64									
	第1学期	4月	第1章 子どもの保育	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
5月	第2章 子どもの成長 1節 子どもの発達の特徴 2節 子どものからだの発達	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
6月	3節 子どもの心の発達	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
7月	第4章 子どもの文化	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
★期末考査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
第2学期	8月	子どもとかかわってみよう（保育実習）	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
9月	第3章 子どもの生活 1節 子どもの生活と養護	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
10月	2節 生活習慣の形成	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11月	3節 健康管理と事故防止	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
★期末考査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
第3学期	12月	5章 子どもの福祉 1節 子ども観	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1月	2節 子どもの福祉	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2月	3節 子育て支援	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3月	★期末考査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
知・技										思・判・表										主体性・態度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
A (十分満足できる状況)										B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
										B+					B-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
定期考査と作品または小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用までまんべなく理解することができている。										定期考査と作品または小テストの合計得点が55～79点である。					定期考査と作品または小テストの合計得点が30～54点である。					定期考査と作品または小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを發表したり、適切に表現することができている。										探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことが出来ない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身につけることができている。										応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。					応用的な問題にあまり取り組むことができていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
課題の解決に向けて粘り強く取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。										課題の解決に真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					課題の解決にあまり前向きな気持ちで取り組めていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。										子どもの発達や保育への関心を持ち、学習に取り組むことはできているが、もう少し実践的な態度を身につける余地がある。					子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度が身につけていない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
総 時 間 数										64																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	総合的な探究の時間	科目名	就職探究セミナーA															
単位数	1	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →	●											
教科書・副教材・(発行所)																		
① キャリアナビ (ベネッセコーポレーション)																		
②																		
③																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
地域や学校、自分の困りごと、SDGsなどのグローバルな課題に対して探究しながら解決策を探し、提案することを目標に学習する。 提案に至るまでの道筋を大切に、自分の思いや意見をしっかりと他者に伝える力を身につける。																		
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																		
知識・技能	課題の設定 課題に合った情報を計画的に集められるか 整理・分析 課題にあった分析を計画的に実施できているか まとめ・表現 表現方法のレベルが適切であるか																	
	第1学期	4月	マナビジョン登録 ガイダンス															1
第1学期	5月	キャリアナビ【社会理解】 キャリアナビ【自己理解】															1 2	
第1学期	6月	キャリアナビ【学問理解】															1	
第1学期	7月	【自己分析】 職業適性検査等															4	
思考・判断・表現	表現方法のレベル 解決したい課題を決めることができ、その課題解決への見通しが立てられるか 整理・分析 分析結果をふまえて自分の意見・考察が書けているか まとめ・表現 主張(課題に対する答え)は対応しているか																	
	第2学期	8月	職業調べ															1
第2学期	9月	探究学習課題提示 事前学習															1 3	
第2学期	10月	全体集会 地域探究 探究振り返り															1 18 1	
第2学期	11月	Literas検定 進路ガイダンス① 進路ガイダンス②															2 1 1	
主体性・態度	課題の設定 自分の興味関心あるいは社会的な問題を課題にできているか 情報の収集 多角的な視点から資料やデータを集められているか 振り返り 取り組んできた探究の改善点、あるいは自分の興味関心を発見できているか																	
	第3学期	12月	探究学習発表準備															2
第3学期	1月	SKY講座に向けて 電話掛け 面接指導															1 1 1	
第3学期	2月	探究学習発表															2	
第3学期	3月	SKY講座															12	
総 時 間 数																	58	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	総合的な探究の時間		科目名	進学探究セミナーA														
単位数	1	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →	●											
教科書・副教材・(発行所)																		
① キャリアナビ ベネッセコーポレーション ② 小論文チャレンジノート 第一学習社 ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
地域や学校、自分の困りごとや、SDGsなどのグローバルでの課題について探究しながら解決策を探し、提案することを目標に学習する。 スライドを用いた発表、小論文対策を通して、深く考え、判断し、自分の思いや意見をしっかりと人に伝える力を身に着ける。																		
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																		
知識・技能	課題の設定 課題にあった情報を計画的に集められているか 整理・分析 課題にあった分析を計画的に実施できているか まとめ・表現 表現方法のレベル（わかりやすさや見やすさ）																	
	1 8月～9月 学問・職業調べ 探究学習課題提示 事前学習																	
思考・判断・表現	表現方法のレベル（わかりやすさや見やすさ） 解決したい課題を決めることができ、その課題解決への見通しが立てられているか 整理・分析 分析結果をふまえて自分の意見・考察が書けているか まとめ・表現 主張（課題に対する答え）は対応しているか																	
	10月～11月 事前学習 地域探究 振り返り リテラス検定 進路ガイダンス																	
主体性・態度	課題の設定 自分の興味関心あるいは社会的な問題を課題にできているか 情報の収集 多角的な視点から資料やデータを集められているか 振り返り 取り組んできた探究の改善点、あるいは、自分の興味関心を発見できているか																	
	12月～1月 チャレンジノート① チャレンジノート② チャレンジノート③ チャレンジノート④ チャレンジノートアタック																	
2月～3月 探究学習発表準備 探究学習発表（SKY講座）																		
																	総 時 間 数	58

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	総合的な探究の時間		科目名	総合的な探究の時間																
単位数	1	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●	●					第1学期	講演会（グループディスカッション） 3年生探究発表見学 課題設定準備①	3	
教科書・副教材・（発行所）																				
① Locus Program（マイナビ）																				
②																				
③																				
④																				
学 習 の 重 点 目 標																				
米子市の課題解決をテーマとして、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。																				
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																				
知識・技能	地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域や社会の特徴や良さに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることの気付いている。																	第2学期	仮説を立てる① 仮説を立てる② 地域探究準備①（事前学習）	3
	思考・判断・表現	地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身につけている。																		
主体性・態度		地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。 また、他者の意見を聞き入れ、考え、自他のために貢献しようとする態度が見られる。																	第3学期	探究検証②（プロトタイプ立証実験） 12月 探究まとめ①（プレゼン作り） 探究まとめ②（プレゼン作り） 探究まとめ③（プレゼン作り） 1月 校外合同進路ガイダンス（コンベンション）予定
																		探究まとめ④（プレゼン作り） 探究まとめ⑤（プレゼン作り） 探究まとめ・表現（グループ発表） SKY講座（中間報告） SKY講座（上級学校見学）		
総 時 間 数																			55	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	総合的な探究の時間		科目名	総合的な探究の時間																
単位数	1	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →									●	●	第1学期	4月	第3章：仮説を立て、適切な研究方法を選ぼう ○ 調査・実験方法を学ぼう ○ 研究を進めるうえで守るべきこと	1 1
教科書・副教材・(発行所)																		5月	研究テーマの決定	1
① 教科書：課題探求メソッド（啓林館） ② 副教材：課題探求ノート（啓林館） ③ ④																		6月	中間発表：研究テーマの発表	1
学 習 の 重 点 目 標																		6月	第4章：調査・実験の実施／結果のまとめ ○ 調査・実験を実施しよう	2
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																	7月	○ 結果をまとめよう	2	
知識・技能	課題研究の各段階における手法，論文の作成・執筆方法，様々なプレゼンテーション方法やその技法について，各段階での提出物の完成度や，調査・実験などの取り組みなどを見て総合的に評価する。																第2学期	8月	第4章：調査・実験の実施／結果のまとめ ○ 考察し、結論を導こう	1
	思考・判断・表現	自ら見つけた研究課題に向き合って解決していく過程や，まわりの人々と協力して解決の糸口を見つけていく力などについて，授業中のディスカッションや発表への参与態度や内容に加え，各段階で作成された提出物や研究論文，プレゼンテーションなども含めて総合的に判断する。																9月	研究テーマに沿った調査・実験活動	3
主体性・態度		授業中の意欲や取り組む姿勢，課題への取り組み姿勢などに加え，課題研究を進めていく際のスケジュール調整力や，多方面への働きかけ方などを各段階で見て，総合的・多角的に評価する。また，長期休業中などの実験や研究論文の執筆，プレゼンテーションの準備などに取り組む姿勢も含めて評価する。																第3学期	10月	研究テーマに沿った調査・実験活動
	11月																		第5章：研究内容をまとめ、発表しよう ○ 研究論文・研究要綱の作成 ○ スライド・ポスター発表について	1 2
																	12月	発表準備	3	
																	1月	研究発表	2	
																	2月	まとめ・振り返り	1	
																	3月			
																	総 時 間 数		24	